



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

平成29年度 業務報告会

# 検査システム委員会 活動報告

2018年2月2日

検査システム委員会

委員長 藤咲 喜丈

- 今年度の事業計画
- 専門委員会、WG報告
  - ・臨床検査システム専門委員会
  - ・内視鏡部門システム専門委員会
  - ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会
  - ・放射線治療WG
  - ・検査レポート検討WG
  - ・DICOM WG
- 来年度の事業計画

## (1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に寄与する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

## (2) 海外活動強化

国内活動にグローバルトレンドを反映させるため、DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・発信の強化

## (3) IHEとの連携や支援の強化

関連技術委員会との技術情報の共有・調整と各種イベントの支援実施

### JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進 ①

#### ● 臨床検査データ交換規約を用いたPOCT実装ガイド Ver.1.0

POCT機器の特性から予防・健康増進等への寄与や、普及が目覚しく、2013年度に行った「POCTデータ交換標準化への調査報告」を元に「臨床検査データ交換規約Ver.4.0C」の実装ガイドとして技術文書の製作を進めた。(2017年4月制定)

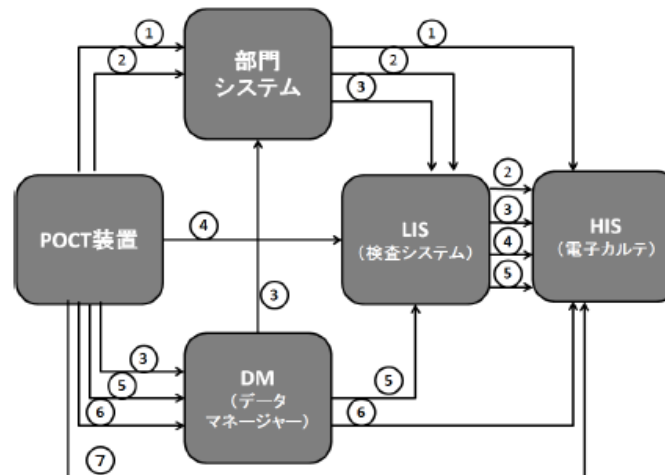


図3：現状の多岐に渡っているPOCT通信経路/構成

## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進 ②

### ● 学会発表

日本臨床検査自動化学会第49回大会の一般演題としてPOCT実装ガイド Ver.1.0に関する普及活動

### ● 標準マスターの整備

JLAC11普及促進のための課題整理と改善協力を行う目的で、「臨床検査項目標準マスター協議会」への参加を継続

### ● 勉強会（予告）

日時 : 2018年 3月7日（水） 15:00-17:00（受付14:30-）

場所 : JAHIS会議室 3 - 4

タイトル : POCTの運用について（仮）

定員 : 定員40名

## 海外活動強化、IHEとの連携や支援の強化

### ● IHE-PaLM 国際会議の開催、参加

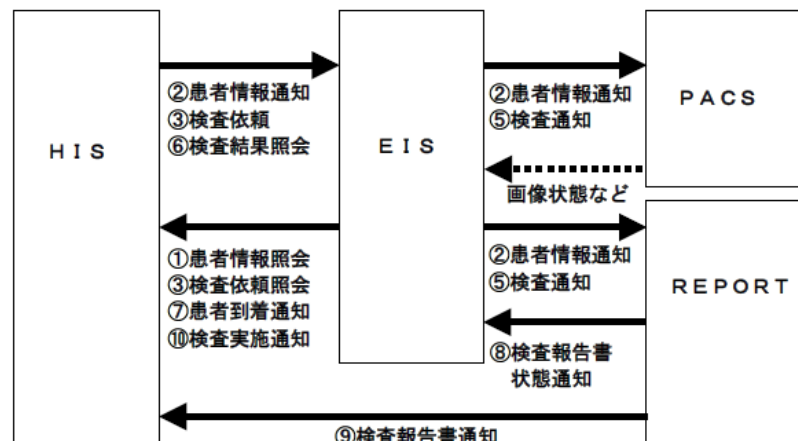
スポンサー活動の一環として、JAHIS会議室においてIHE-PaLMの国際会議を開催（5月31日-6月2日）し、海外からは6名の参加を得た。また、セクレタリとしてEU(伊サルディニア、11月13日-15日)に出席。標準化推進活動として日本におけるコネクタソンの紹介やJAHISとIHEの関係性について発表を行った。

次年度はNA（2018年5月）、日本（2018年11月）にて開催を予定。



## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 内視鏡データ交換規約Ver.3.1C (4月制定)



システム間情報伝達イメージ

### 改訂概要：

特に患者到着通知の見直しを中心に、一部を日本独自の手順から、IHEの既設の通信手順を応用する形に改訂し、より国際的な整合性に配慮した

## 海外活動強化、I H Eとの連携や支援の強化

- 2017年度、IHE international Endoscopy Domainにおいて、EWF（修正提案）及びEIA(Endoscopy Image Archive)の新規プロフィールがパブコメを終了し、TI（Trial Implementation）の準備に入った
- IHE-Jコネクタソン2017の内視鏡ドメインを支援



## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動  
関連する学会にて、JAHIS標準類（JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約、JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約、JAHIS病理診断レポート構造化記述規約）およびIHEテクニカルフレームワークを紹介
- デジタル・パソロジー技術検討会
  - ①『デジタルパソロジー入門』 2017年9月書籍発刊
  - ②WSI認定管理者(ADVANCED)およびWSI技術者(BASIC)の育成カリキュラムを実施

## 海外活動強化、I H Eとの連携や支援の強化

- IHE PaLM国際会議に参加（5月JAHIS：日本、11月サルデーニャ島：イタリア）
  - ① Supplement SET (Specimen Event Tracker)
  - ② APSR2.0 (病理レポート)
  - ③ Digital Pathology Workflowについて議論中
- DICOM WG-26国際会議に参加
 

2018年度は、5月末にヘルシンキ：フィンランド、6月にノースフィールド：米国、11月に日本（JAHIS）で開催予定

  - ① DICOMコネクタソン（スキャナベンダ、ビューアベンダ、PACSベンダ計5社でWSIコネクタソンを初開催）
  - ② バーチャルコネクタソン継続検討中

## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 放射線治療データ交換規約 Ver.1.1Cを5月に制定（改訂）済
- 放射線治療データ交換規約 Ver.1.0C（平成26年度制定）からVer.1.1Cの変更点を日本IHE協会放射線治療技術委員会に説明（8月）
- 放射線治療レポート構造化記述規約 Ver.1.0の作業項目提案を実施。2019年4月末の作業終了を目指し、取り扱う情報項目、利用するマスタ等を現在検討中

## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

### ・制定済JAHIS標準のフォロー

- 診療文書構造化記述規約共通編 2015年8月
- 生理機能検査レポート構造化記述規約 同8月
- 病理診断レポート構造化記述規約 同12月
- 心臓カテーテル検査構造化記述規約 2016年5月

※公的機関より共通編についての問い合わせ多数

各所の個別編支援、フィードバック

→共通編等、改訂準備中

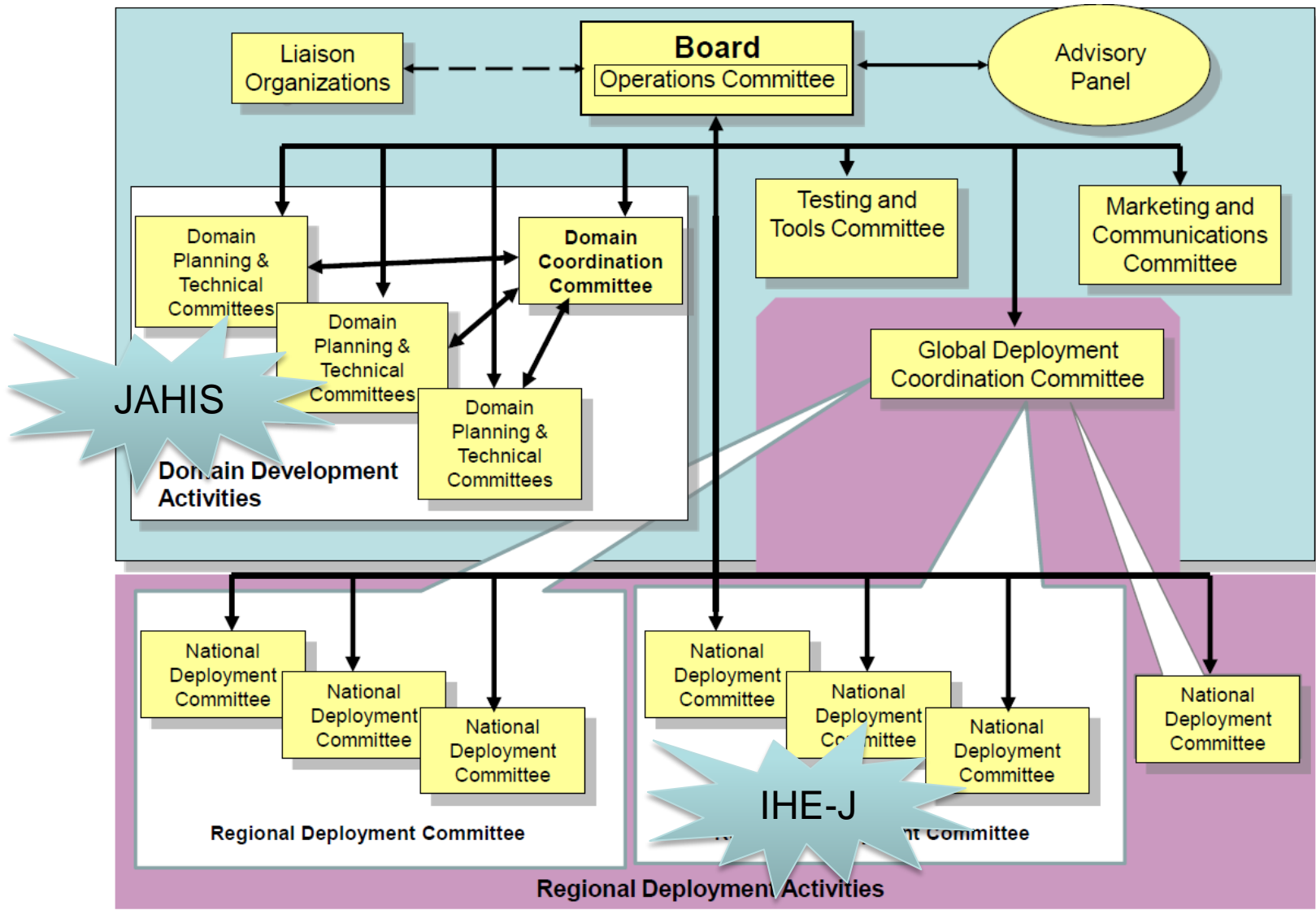
## 海外活動強化

- DICOM投票案件の検討体制継続  
DICOMに関連した活動を行う他委員会等からのリエゾンメンバによるJAHIS標準への影響確認を継続
- DICOM投票案件対応（件数は、2018年1月末現在）  
4件のCpack、6件のSupplementを検討し、医療システム部会、国際標準化委員会の審議を経て投票対応を実施
- DSC、WG-13、WG-26への参画  
DSC、WG-13（Visible Light）、WG-26（Pathology）に参画し、最新動向を収集し、情報発信を実施

## DICOM国際会議をJIRA / JAHIS共催 2017.9.25～28

- DSC (DICOM Standard Committee) の他、WG-10 (Strategic Advisory, WG-29 (Education, Communication and Outreach)、WG-13 (Visible Light)、WG-14 AdHocの各会議をJAHISを会場として開催
- 日本からはJSRT、JIRA、JAHISの各委員が参加
- 国際標準化活動への貢献と共に、日本の関係団体 (JSRT,JIRA,JAHIS)の交流も実現、DICOMトップリーダーとの貴重な経験をJAHISで共有できた





IHE-International-Principles-of-Governance. Figure 3-1: IHE International Committees and Relationships

**JAHIS**  
種々な医療機器を統括管理情報システムが実現します

### X. 検査システム

診療における検査の位置づけ

```

    graph LR
      A[診察  
問診、触診、  
聴診、仮説] --> B[検査  
仮説検証・程度  
把握、診断]
      B --> C[説明・治療  
方針決定]
  
```

© JAHIS 2018

- JAHIS会員へ検査システムの基本を啓蒙、現場情報を紹介
- システム連携に関する基本と、制定済JAHIS標準類の紹介

**JAHIS**

### 検査の種類と分類

```

    graph LR
      Root[検査] --- Body[検体検査]
      Root --- Vital[生体検査]
      Body --- Blood[血液]
      Body --- Bio[生化学]
      Body --- Path[病理]
      Vital --- Image[画像検査]
      Vital --- Phys[生理機能検査]
  
```

© JAHIS 2018

**JAHIS**

### 臨床検査運用フロー(例)

The flowchart illustrates the clinical laboratory workflow, divided into three main stages: 診療部門 (Clinical Department), 採血室 (Blood Collection Room), and 臨床検査室 (Clinical Laboratory). It details the process from patient registration and blood collection to specimen analysis, data checking, and final result delivery to the patient or doctor.

© JAHIS 2018



## (1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

## (2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・発信の強化

## (3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました